

## JICA は金沢大学とカンボジア工科大学との国際共同研究を採択決定。金沢大学はカンボジアの大気汚染問題に挑む！

### 共に「知」を総合する科学技術協力～2021年度採択結果の発表

国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクトである「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）※」は、日本に蓄積された「知」を活用し、途上国の研究者と日本の研究機関が共同研究を行うことで、実社会で活用可能な新しい技術や知識を創り出していく事業です。今年度北陸地域では、金沢大学の事業が新たに採択されました。

金沢大学は長年にわたり、カンボジアの大気汚染問題に関する研究や人材育成において支援を行ってきました。この事業では「大気汚染による健康リスク」を低減するための大気汚染モニタリングの技術者や研究者を育成し、PM2.5（微小粒子状物質）よりも小さくて健康リスクが高いPM0.1の実態解明に取り組みます。

JICA の環境分野における同国へ支援については、水質汚染等については行ってきたものの、大気汚染に関してはほとんどありません。JICA にとっても、新たな挑戦であり、この事業の成功は大きな意義となりえるものです。大学の先生へのご取材も調整可能です。ぜひ取材をご検討ください。

日本側研究機関	相手国研究機関	事業名	SDGs 項目
金沢大学 代表研究者： 古内正美教授	カンボジア工科大学	カンボジアにおける大気汚染リスク管理プラットフォームの構築（環境領域）	  

<※「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）」とは>

地球規模課題に対応し開発途上国の自立的、持続的な発展を支えるために、日本と開発途上国の大学・研究機関等が連携し、新たな技術の開発・応用や新しい科学的知見獲得のための共同研究を実施し課題解決を進めるとともに、開発途上国の大学・研究機関等の研究水準の向上と総合的な対処能力の強化を行うプログラムです。JICA、国立研究開発法人科学技術

振興機構(JST)及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の連携により実施しています。2021年度は、12件の事業が採択されました。

2021年度「地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)」新規採択案件の決定について：<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/index.html>

SATREPS 概要：<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/summary/index.html>

**【本件に関する問い合わせ先】**

JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX室 中島由希子

TEL 03-5226-8105 e-mail : Yukiko.Nakajima@jica.go.jp